

脳病態制御分野

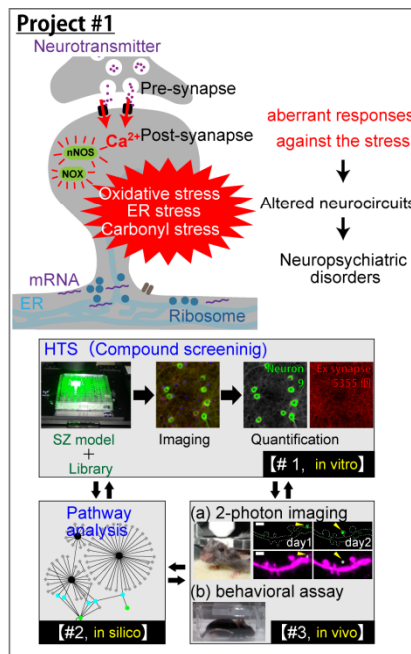
Lab of Medical Neuroscience



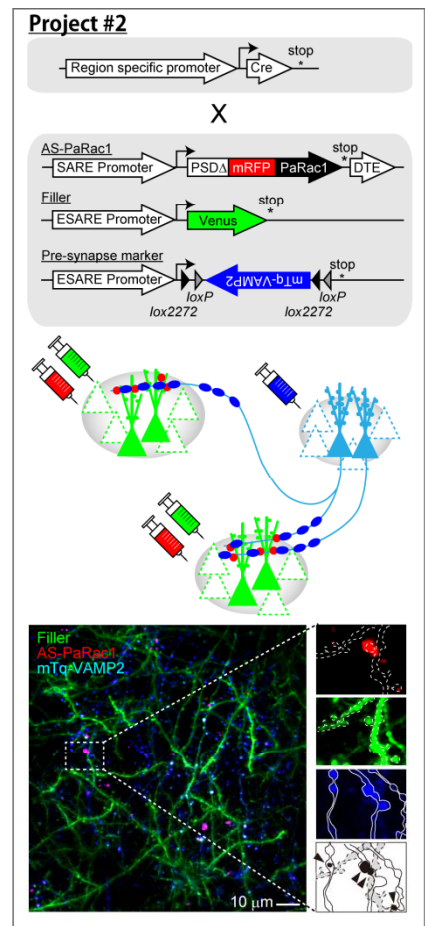
研究内容

精神神経疾患の病態生理として、神経細胞におけるシグナル伝達や代謝異常がその責任病態として注目されはじめました。そこで普遍的な生体情報の受容伝達の破綻の1つの切り口として精神疾患を捉え、神経細胞を一つのモデルとして疾患関連シグナルを可視化すること、このようなシグナル異常が同定されたならば、同シグナルを軽減する化合物は新規の精神疾患治療候補薬になりうると考えています。そのために、2光子顕微鏡を用いた光遺伝学、光イメージング、神経生理学、行動解析、分子細胞生物学などを用いた多彩なアプローチを組み合わせ、**精神疾患を解明・根治することに本気で挑戦しております。**教室主任は精神科専門医であり、精神科の立ち位置から生じた好奇心に対して、神経科学のアプローチより挑戦するスタンスを取っております。**本当に価値のある研究は長い苦しみが伴うものです。一緒に頑張れる仲間を募集しております。**やる気と体力さえあれば、これまでのバックグラウンドは問いません。お気軽にお声をかけてください。

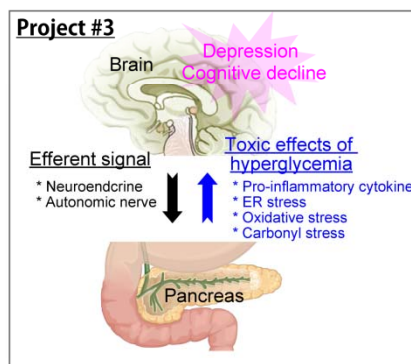
Project #1: 精神疾患における代謝産物の解析および代謝制御に基づく革新的医療基盤技術の創出 (JST・さきがけプロジェクト)



Project #2: シナプス光遺伝学などの最先端イメージング技術を用いた精神疾患関連神経回路の可視化 (AMED・革新脳プロジェクト)



Project #3: 糖尿病と精神疾患の病態連関を制御する分子基盤の解明 (学長裁量重点支援プロジェクト)



連絡先: 林 (高木) 朗子, hayashitakagi@gunma-u. ac. jp、8850
干場義生, hoshiba@gunma-u. ac. jp、8874
<http://medical-neuro. imcr. gunma-u. ac. jp/>